

## 平成 24 年度カワウ保護管理検討会（第 3 回）

### 議事概要

●日時：平成 25 年 2 月 26 日（火）13：00～18：00

●場所：自然環境研究センター 9 階大会議室

●出席者：

〈検討委員〉

井口 恵一朗	長崎大学
須川 恒	龍谷大学
坪井 潤一	山梨県水産技術センター
羽山 伸一	日本獣医生命科学大学
山本 麻希	長岡技術科学大学

〈関係省庁〉

水産庁増殖推進部栽培養殖課（欠席）

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課（欠席）

〈環境省〉

堀内 洋	自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室 鳥獣保護管理企画官
松本 純治	自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室 室長補佐
千葉 康人	自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室 共生事業係長

〈事務局〉

安齋 友巳	一般財団法人 自然環境研究センター
高木憲太郎	NPO 法人 バードリサーチ
加藤ななえ	NPO 法人 バードリサーチ
杉本 寛	NPO 法人 バードリサーチ

●議事概要：

（1）特定鳥獣保護管理計画技術マニュアル改訂版（仮称）の素案について

手引き編「1. 鶇的フェーズ別診断による都道府県の現状把握」について検討され、  
個体数の表記やレイアウトについて議論がされた。

手引き編「2. 技術編」の検討が行われた。データセンターの概念図について、実態に即したものにす。ねぐら・コロニーシートと採食地飛来状況シートは残して、  
対策実施状況シートと検討会記録シートは削除し、書いてあるものは解説を付けることが決められた。ねぐら・コロニーシートを載せることが決められた。ねぐら・コロニーの個体数管理の基本的な考え方の図を分かりやすく示すよう、提案された。市町村における管理の部分について議論がされた。

ガイドライン編の検討が行われた。モニタリングの調査基準について議論が行われ、「カワウは夜間にねぐらを取るため、昼間の個体数調査では過小評価する恐れがある」と書くことが決められた。

手引き編「3. 資料編」の検討が行われた。資料編における個々の図表について、分かりやすく示すよう議論がされた。また、用語の使い方や統一について議論がされた。ヨーロッパで実施されている REDCAFE や CORMAN について、指摘を受けた。

## (2) その他

全体を通して議論が行われた。河川管理者に働きかけていくことの重要性について議論が交わされた。事務局より今後のスケジュールについて説明された。